

作成年月日	令和2年9月14日
作成部局課室名	教育委員会事務局文化財課

特別展



女たちのひょうご—千姫から緒方八重まで—



千姫姿絵 江戸時代 弘経寺(茨城県常総市)蔵
常総市指定文化財
※後期展示(11月3日~11月23日)、前期は複製を展示

1 展覧会概要

江戸時代の女性たちは何を考え、どのように生きたのでしょうか。一般的には、当時の女子教訓書『女大学』などで理想とされた、従順で貞淑な女性像で語られることも多いかもしれませんが、しかし、その一方で、よりよい暮らしを求めて自ら考え、行動した女性たちの存在もまた各地に伝えられています。

本展では、千姫や田ステ女、大石りく、緒方八重などの著名な人物から商家や庄屋の女性など無名の人物まで、“ひょうご”ゆかりの女たちを多数取り上げながら、江戸時代の女性の多様な人生について考えます。

2 会期等

会 期 令和2年(2020)10月3日(土)~11月23日(月・祝)〔45日間〕

開館時間 午前10時~午後5時まで(入館は午後4時30分まで)

休 館 日 月曜日 ※11月23日(月・祝)は開館、11月24日(火)は休館

※新型コロナウイルス感染症対策のため、事前予約ができるオンラインチケットを販売します。

※展覧会場の混雑を緩和するため、入場制限を行うことがあります。

【新型コロナウイルス感染症拡大防止対策】

ご来館のみなさまには、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、マスクの着用や入館時の検温、連絡先の提供、兵庫県新型コロナ追跡システムの利用登録などにご協力をお願いします。

また、当館では館内の清掃、消毒の強化や、受付への飛沫防止シートの設置などの対策を行っています。詳しくは別紙資料をご覧ください。

3 会場

兵庫県立歴史博物館 ギャラリー一他

〒670-0012 姫路市本町68番地 (Tel.079-288-9011)

4 主催

兵庫県立歴史博物館、神戸新聞社

5 後援

兵庫県、兵庫県教育委員会、姫路市、姫路市教育委員会、NHK神戸放送局、サンテレビジョン、ラジオ関西、女性史総合研究会、総合女性史学会

6 協力

山陽電気鉄道株式会社、神姫バス株式会社

7 特別協力

大阪城天守閣

8 観覧料

大人 1,000 円、大学生 700 円、70 歳以上 500 円、障がい者一般 250 円
障がい者大学生 150 円、高校生以下無料

9 展示構成と主な出品資料

I 女性へのまなざし

双六、女性向けの教訓書、錦絵、染織品・工芸品などから、当時の女性にどのようなまなざしが注がれ、何が求められていたのかを考えます。

- 1 「おんな」という性 / 2 女性と「美」



なしじきくからくさもんまきえきようだい
梨地菊唐草紋蒔絵鏡台 江戸時代後期
赤穂市立美術工芸館 田淵記念館蔵
江戸時代後期に婚礼道具として、赤穂の塩問屋・田淵家に
持参されたものとみられます。



あきくさ つばめもんようまきえくし こうがい
秋草に燕文様蒔絵櫛・笄 江戸時代末期～明治
兵庫県立歴史博物館蔵
但馬の旧家に伝わる髪飾りで、小さいものでありながら丁寧に
作り込まれ、当時の女性の美意識を感じさせます。

II 翻弄される女たち

時代に翻弄された女たちの生きざまをそれぞれの遺品から紹介します。

- 1 縁と縁のはざままで～千姫～ / 2 夫を見送って～大石りく～



せんひめすがたえ
千姫姿絵 江戸時代 弘経寺(茨城県常総市)蔵
常総市指定文化財
※後期展示(11月3日~11月23日)、前期は複製を展示
脇息にもたれ立て膝で座す千姫を描いたものとされます。日常の中の穏やかなひとときを感じさせます。

絵画、刺繍、俳諧などの文芸活動から、女性たちが自らを表現した方法やそのきっかけなどを紹介し、当時の女性の生きざまを考えます。

- 1 女が描く女 ~清原雪信~ / 2 俳諧から仏の道へ ~田ステ女~
3 つどう女たち ~貞閑尼と不徹庵~ / 4 祈る女たち



だんしんりゅうぞう
男神立像 江戸時代 不徹寺(姫路市)蔵
手のひらに収まるほどの大きさの神像で、大名家の女性などが肌身離さず所持し、身の守りとしたいわゆる「念持仏」とされます。



ししゅうねはんず
刺繍涅槃図 元禄6年(1693)
龍門寺(姫路市)蔵
※前期展示(10月3日~11月1日)
肥前国平戸藩主の正室である松林院が刺繍したものです。多彩な色糸や金糸を使って繊細かつ豪華に仕上げられたこの刺繍からは、信仰の深さが伝わります。



けんぼんちやくしよくでんすてじまがぞう
絹本着色田捨女画像 個人蔵
丹波市立柏原歴史民俗資料館・田ステ女記念館寄託
※後期展示(11月3日~11月23日)
6歳で俳諧を詠んだとされる田ステ女が描かれています。「雪の朝 二の字 二の字の 下駄の跡」



たそでずびょうぶ
誰が袖図屏風 江戸時代
たつの市立龍野歴史文化資料館蔵
※前期・後期で入れ替えあり
京極家の女性の所用品と伝わる屏風です。

IV 「家」と生きる女たち

「家」に属し、その存続と継承を第一とする女性たちが、日常生活のなかでどのようなことを考え、何に価値を見出して生きていたかを女性が使っていた道具や手紙から考えます。

- 1 「家」と「家」をつなぐ / 2 女と文字 / 3 家に眠る女たちの記憶



あさぎじしょうじゆもんようちかけ
浅菖地松樹文様打掛
赤穂市立美術工芸館
田淵記念館蔵
※前期展示(10月3日~11月1日)
赤穂の塩問屋・田淵家に伝わる婚礼衣装です。



おがたやえしょうぞうが
緒方八重肖像画 明治
34年(1901)
大阪大学適塾記念センター蔵
※前期展示(10月3日~11月1日)
緒方洪庵の妻・八重の肖像画です。

10 関連行事

特別展講演会 史料と文学作品からみた千姫像

講師 甲斐 史子 氏 (姫路文学館学芸課課長)
日時 10月25日(日) 14:00~15:30
会場 当館 地階ホール
参加費 無料
定員 先着50名(※当日受付)

れきはくアカデミー 仏教と女性 —あの世とこの世—

講師 藁科 宥美 (当館 学芸員)
日時 10月10日(土) 14:00~15:30
会場 当館 地階ホール
参加費 無料
定員 先着50名(※当日受付)

歴史講演会 自若として驚かず~巨大商社鈴木商店の女主人 鈴木よねの生涯~

※兵庫県立歴史博物館友の会と共催

講師 村上 早百合 氏 (神戸新聞社姫路本社代表)
日時 11月22日(日) 14:00~15:30
会場 当館 地階ホール
参加費 300円 (友の会会員は無料)
定員 先着50名(※当日受付)

連続歴史講座 古文書に親しむ (江戸時代の女性の手紙)

講師 大黒 恵理 (当館 学芸員)
日時 10月24日(土)、11月7日(土)、11月14日(土)
各回 14:00~15:30
会場 当館 体験ルーム
参加費 無料
定員 先着20名(※事前申込制)
申し込み期間 9月23日(水)~10月7日(水)

県立美術館・博物館魅力発見事業

館長トーク 女性史研究ってなあに?—江戸の女たちの魅力を語る—

展覧会の内容に関連するゲストを招いて当館館長とトークを行います。

出演 柴 桂子 氏 (桂文庫主宰、近世女性史研究家)
沢山 美果子 氏 (岡山大学大学院社会文化科学研究科客員研究員)
ベティーナ・グラムリヒ=オカ氏 (上智大学国際教養学部教授)
藁田 貫 (当館 館長)
日時 10月31日(土) 13:30~15:30
会場 当館 地階ホール
参加費 無料
定員 先着50名(※当日受付)

★お問い合わせ先

兵庫県立歴史博物館

〒670-0012 兵庫県姫路市本町68番地

TEL 079-288-9011 FAX 079-288-9013

<http://www.hyogo-c.ed.jp/~rekihaku-bo>

(展覧会内容に関すること) 担当学芸員 大黒恵理、藁科宥美

(広報写真提供に関すること) 事業企画課 吉原大志

★交通

JR 姫路駅・山陽電車山陽姫路駅から、神姫バス「姫路医療センター経由」系統で約8分、『姫山公園北・博物館前』下車

※周辺の有料駐車場をご利用ください。

特別展「女たちのひょうごー千姫から緒方八重までー」
画像資料



1 せんひめすがたえ 千姫姿絵 江戸時代 弘経寺（茨城県常総市）蔵
常総市指定文化財
※後期展示（11月3日～11月23日）
前期は複製を展示



2 だんしんりゆうぞう 男神立像 江戸時代 不徹寺（姫路市）蔵



3 あさぎじしやうじゆもんやううちかけ 浅葱地松樹文様打掛
赤穂市立美術工芸館 田淵記念館蔵
※前期展示（10月3日～11月1日）



4 ししゆうねはんず 刺繍涅槃図 元禄6年（1693）
龍門寺（姫路市）蔵
※前期展示（10月3日～11月1日）



5 おがたやえしやうぞうが 緒方八重肖像画 明治34年（1901）
大阪大学適塾記念センター蔵
※前期展示（10月3日～11月1日）



6 けんぼんちやくしよくでんすてじよがぞう
絹本着色田捨女画像 個人蔵 丹波市立
柏原歴史民俗資料館・田ステ女記念館寄託
※後期展示（11月3日～11月23日）



7 なしじきくからくきもんまきえきょうだい
梨地菊唐草紋蒔絵鏡台 江戸時代後期
赤穂市立美術工芸館 田淵記念館蔵



8 あきくさ つぼめもんようまきえぐし こうがい
秋草に燕文様蒔絵櫛・笄
江戸時代末期～明治
兵庫県立歴史博物館蔵



9 たのそでずびょうぶ
誰が袖図屏風 江戸時代
たつの市立龍野歴史文化資料館蔵
※前期・後期で入れ替えあり

特別展「女たちのひょうご 一千姫から緒方八重まで」

資料請求書

兵庫県立歴史博物館 FAX 079-288-9013
 メール Daishi_Yoshihara@pref.hyogo.lg.jp

ご希望の写真番号を選び紙焼きもしくはデジタル欄に○印を付けてください。

番号	資料名	紙焼き	デジタル
1	千姫姿絵 江戸時代 弘経寺（茨城県常総市）蔵 常総市指定文化財 ※後期展示（11月3日～11月23日）、前期は複製を展示		
2	男神立像 江戸時代 不徹寺（姫路市）蔵		
3	浅葱地松樹文様打掛 赤穂市立美術工芸館 田淵記念館蔵 ※前期展示（10月3日～11月1日）		
4	刺繍涅槃図 元禄6年（1693） 龍門寺（姫路市）蔵 ※前期展示（10月3日～11月1日）		
5	緒方八重肖像画 明治34年（1901） 大阪大学適塾記念センター蔵 ※前期展示（10月3日～11月1日）		
6	絹本着色田捨女画像 個人蔵、丹波市立柏原歴史民俗資料館・田ステ女記念館寄託 ※後期展示（11月3日～11月23日）		
7	梨地菊唐草紋蒔絵鏡台 江戸時代後期 赤穂市立美術工芸館 田淵記念館蔵		
8	秋草に燕文様蒔絵櫛・笄 江戸時代末期～明治 兵庫県立歴史博物館蔵		
9	誰が袖図屏風 江戸時代 たつの市立龍野歴史文化資料館蔵 ※前期・後期で入れ替えあり		

※上記の画像を媒体掲載される場合は、資料名を必ず入れてください。

貴社名			
媒体名			
ご住所	〒		
ご担当者			
メールアドレス			
電話番号	FAX		
掲載・放送予定日			
読者・視聴者へのプレゼント（有・無）			組 名様分希望
招待券必要枚数（ ）枚 最大5組10名様分まで			

※本展に関する記事をご掲載いただきました際には、掲載誌・URL等を、事業企画課までお送り願います。

2020
10/3^土
▼
11/23^{月・祝}

特別展

女 びんぼうの し

—千姫から緒方八重まで—



休館日

月曜日

11/23(月・祝)は開館
11/24(火)は休館

開館時間

10:00~17:00
(入館は16:30まで)

観覧料

一般……1000円
大学生……700円
高校生以下……無料

*障がい者及び70歳以上の方は別途割引あり
*障がい者1人につき、介護者1人は無料
*団体でのご来館をご希望の場合は、事前にお問い合わせください

〔当館ホームページ〕



*オンライン予約ほか新型コロナウイルス感染症拡大防止に関する
お問い合わせはこちら

主 催 *兵庫県立歴史博物館 神戸新聞社
後 援 *兵庫県 兵庫県教育委員会 姫路市 姫路市教育委員会
NHK 神戸放送局 サンテレビジョン ラジオ関西
女性史総合研究会 総合女性史学会
協 力 *山陽電気鉄道株式会社 神姫バス株式会社
特別協力 *大阪城天守閣



兵庫県立歴史博物館
Hyogo Prefectural Museum of History

〒670-0012 姫路市本町68番地 ☎ 079-288-9011
ホームページ <http://www.hyogo-c.ed.jp/~rekihaku-bo>

浅葱地松樹文様打掛(19世紀頃) 赤穂市立美術工芸館 田淵記念館蔵【前期】/緒方八重肖像画(明治34年〔1901〕)
大阪大学適塾記念センター蔵【前期】/千姫姿絵(江戸時代) 弘経寺(茨城県常総市)蔵【常総市指定文化財】
【前期(複製)、後期(原本)】/覆貝 尼崎市教育委員会蔵
*作品保護のため、期間中展示替えがあります【前期:10/3(土)~11/1(日)、後期:11/3(火・祝)~11/23(月・祝)】

前売券(800円) 10/2(金)まで販売

当館受付 姫路市立美術館友の会 中井三成堂
姫路山陽百貨店 (公財)姫路市中小企業共済センター
姫路市文化国際交流財団



6才で俳諧を詠んだ!? 田ステ女

れきはく アカデミー

10/10(土) 14:00~15:30 「仏教と女性—あの世とこの世—」 講師：藁科有美 (当館学芸員) *当日受付、定員50名(先着順)、参加費無料、当館地階ホール

講演会

10/25(日) 14:00~15:30 「史料と文学作品からみた千姫像」 講師：甲斐史子氏 (姫路文学館学芸課長) *当日受付、定員50名(先着順)、参加費無料、当館地階ホール

県立美術館・博物館 魅力発見事業 館長トーク

10/31(土) 13:30~15:30 「女性史研究ってなあに? —江戸の女たちの魅力を語る—」 ゲスト：沢山美果子氏 (岡山大学大学院社会文化科学研究科客員研究員) 柴桂子氏 (桂文庫主宰、近世女性史研究家) ペティーナ・グラムリヒオカ氏 (上智大学国際教養学部教授) *当日受付、定員50名(先着順)、参加費無料、当館地階ホール

歴史 講演会

11/22(日) 14:00~15:30 「自若として驚かず ~巨大商社鈴木商店の女主人 鈴木よねの生涯~」 講師：村上早百合氏 (神戸新聞社姫路本社代表) *当日受付、定員50名(先着順)、参加費：300円(友の会会員は無料)、当館地階ホール

連続 歴史講座

①10/24(土)、②11/7(土)、③11/14(土) 「古文書に親しむ(江戸時代の女性の手紙)」 全3回 14:00~15:30 講師：大黒恵理 (当館学芸員) *事前申込【申込期間：9/23(水)~10/7(水)】、定員20名、参加費無料、当館地階体験ルーム



高さ2mの刺繍の涅槃図!



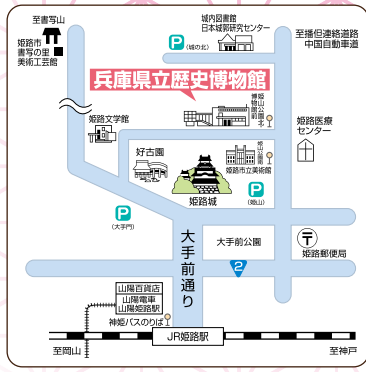
手のひらサイズの 天神様

むかしの女性って どんなくらしをして、 どんなことを考えていたの? ”ひょうご” ゆかりの女性って どんな人がいたの? 江戸時代を中心に絵画や手紙など ゆかりの品々を大公開。 女たちの生きざまに きっとパワーをもらえます!

江戸時代き 家書は大変!



オシャレに 忘れずに!



アクセス

交通 ●JR姫路駅・山陽電車山陽姫路駅すぐの神姫バス 姫路駅バスターミナル7番、8番のりばから約8分 「姫山公園北・博物館前」下車 (医療センター経由) ●6番のりばから城周辺観光ループバスで約8分 「博物館前」下車

駐車場

●博物館には駐車場がありません。有料駐車場P (姫路市営城の北、姫山駐車場)をご利用ください ●大型バスでご来館の場合は、事前に当館へご連絡ください

*イベント詳細につきましては、当館ホームページをご覧ください。 絹本着色田捨女画像(近代) 個人蔵、丹波市立柏原歴史民俗資料館・田ステ女記念館 寄託【後期】/男神立像(江戸時代) 不徹寺(姫路市)蔵/刺繍涅槃図(元禄6年[1693]) 龍門寺(姫路市)蔵【前期】/秋草に燕文様時絵櫛(19世紀頃) 兵庫県立歴史博物館蔵/簪(明治時代) 兵庫県立歴史博物館蔵/長谷川貞信 浪花自慢名物尽「天満大根」(安政末期) 大阪城天守閣蔵【後期】

